

## 中央アジア初の万博 「2017年アスタナ国際博覧会」 “日本館 サポーター”

『米村でんじろう』さん (サイエンスプロデューサー)

『桂 歌蔵』さん (落語家)

『モリゾー・キッコロ』 (愛・地球博 公式キャラクター)

### が新たに就任しました。

中央アジアで初めて開催される万博、「2017年アスタナ国際博覧会(以下、アスタナ博)」(テーマ: 未来のエネルギー/会期:2017年6月10日(土)~9月10日(日)までの93日間)。日本は経済産業省を幹事省、文部科学省、国土交通省及び環境省を副幹事省、日本貿易振興機構(JETRO)を参加機関とし、日本館を出展いたします。

日本館では、その魅力を幅広く発信するため、各界でご活躍されている方々を「アスタナ博日本館 サポーター」として、経済産業大臣より任命するプロジェクトを推進しています。

2016年12月6日、米村でんじろうさん(サイエンスプロデューサー)、桂歌蔵さん(落語家)、モリゾー・キッコロ(愛・地球博 公式キャラクター)の3者が、日本館サポーターに就任しましたのでお知らせします。これにより、日本館サポーターは計4名となります(日本館サポーター第1号は嘉門達夫さん(シンガーソングライター))。

新たな日本館サポーターをお迎えし、アスタナ博日本館はその魅力を今後も一層発信するとともに、出展に向けた準備を推進してまいります。

#### <サポーターに就任いただいた理由>

- ①米村でんじろうさん : 2005年「愛・地球博」でのエネルギー教室の出演実績や、科学やエネルギーの楽しさを広く社会に伝える活動実績から
- ②桂歌蔵さん : 落語の海外公演の一環として、2014年にカザフスタンで公演を行った実績から
- ③モリゾー・キッコロ : 2005年「愛・地球博」公式キャラクターとしての実績から

アスタナ博日本館 公式ウェブサイト : [expo2017-astana.go.jp/](http://expo2017-astana.go.jp/)

(本件に関する報道関係の方からのお問い合わせ先)

2017年アスタナ国際博覧会 日本館広報事務局 担当者: 島田、長谷川

電話: 03-3221-1100 FAX: 03-3265-5135 MAIL: [astanaexpo-japan@ozma.co.jp](mailto:astanaexpo-japan@ozma.co.jp)

## 新たに就任が決定した “ 日本館サポーター ”

### ■米村 でんじろう さん (サイエンスプロデューサー)



1955年、千葉県生まれ。東京学芸大学大学院理科教育専攻科終了後、自由学園・講師、都立高校教諭を勤めた後、広く科学の楽しさを伝える仕事を旨し、1996年4月独立。NHK「オレは日本のガリレオだ!？」に出演、話題を呼ぶ

1998年「米村でんじろうサイエンスプロダクション」設立  
2005年 愛・地球博では「エネルギー教室」を開催

現在、サイエンスプロデューサーとして、科学実験等の企画・開発、各地でのサイエンスショーや実験教室、各種テレビ番組・雑誌の企画・監修・出演など、さまざまな分野、媒体で幅広く活躍中。

### ■桂 歌蔵 さん (落語家)

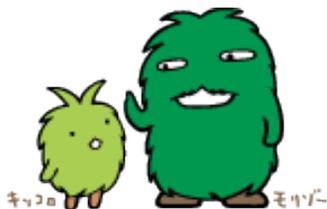


1964年 大阪府堺市に生まれる  
1989年 大東文化大学経済学部卒業  
1992年2月 桂歌丸に入門 前座名 歌郎となる  
1996年2月 二つ目昇進 歌蔵となる  
2005年春 真打昇進

5月より都内新宿末広亭、浅草演芸ホール、池袋演芸場、お江戸日本橋亭、上野広小路亭にて2ヶ月間の真打披露興行を行う

現在都内寄席の他、全国各地のホール落語会等の高座を務めながら、海外公演も行う。2005年タイ公演、2008年ブラジルリオデジャネイロ公演、2010年国際交流基金主催のフィリピン・マレーシア・ベトナム3カ国公演、2011年はミャンマー・インド・スリランカ公演、2012年はアメリカのロサンゼルス・シアトルにて英語落語公演、2014年ウズベキスタン・カザフスタン公演、2015年エジプト・ケニア公演、2016年モンゴル公演を行い、好評を博す。

### ■モリゾー・キッコロ (愛・地球博 公式キャラクター)

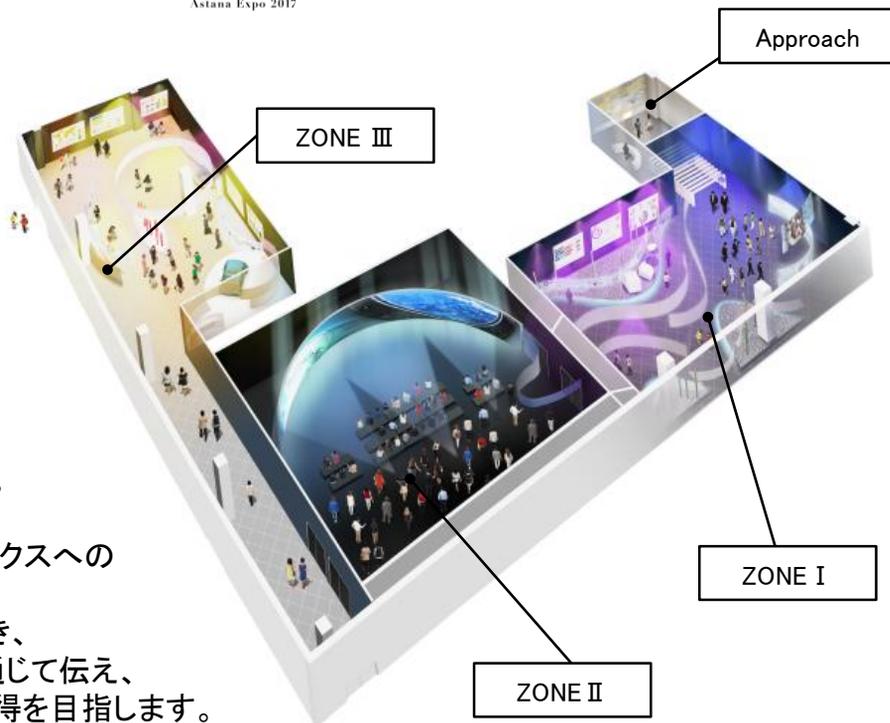


モリゾーは、森のおじいちゃん。キッコロは、森のこども。ふたりは、愛知県瀬戸市にある海上の森に住んでいる森の精です。森がいつもいきいきとして、自然のちからにあふれているのは「森の精」が住んでいるからです。ふだんは人間の目には見えませんが、気をつけているとその存在を感じることが出来ます。疲れている人の心に木漏れ日をとどけたり、そよ風をおこしたり…彼らはたくさんの不思議なちからで、私たちを元気にしてくれます。

愛・地球博の開催中は会場で大活躍しましたが、閉幕とともに森に帰っていました。

そして、今度はみんなのエコ活動を応援したり、環境問題を一緒に考えたりするために、またみんなの所に登場してくれます。

## 【日本館展示構成】



日本館内の展示は、

- ①ZONE I
- ②ZONE II
- ③ZONE III

の3つのゾーンで構成されます。

日本の省エネやエネルギーミックスへの取り組み、またその背景にある日本の文化や精神性等を、驚き、楽しさあふれる体験や体感を通じて伝え、日本への強い関心と共感の獲得を目指します。

## 【2017年アスタナ国際博覧会の概要】

- 名称 : 2017年アスタナ国際博覧会
- 会期 : 2017年6月10日(土)～9月10日(日) 93日間
- 開催地 : カザフスタン共和国アスタナ市
- テーマ : 未来のエネルギー (Future Energy)
- サブテーマ : 1. CO<sub>2</sub> 排出削減 (Reducing CO<sub>2</sub> Emissions)  
2. 省エネルギーの活用 (Living Energy Efficiency)  
3. すべての人類のためのエネルギー (Energy for All)
- 会場面積 : 約175 ヘクタール
- 想定入場者数 : 500万人以上
- 想定参加国等 : 100を超える国・地域、国際機関
- 公式ウェブサイト : [expo2017astana.com](http://expo2017astana.com)

アスタナ国際博覧会は国際博覧会条約に基づく認定博覧会です。開催地であるカザフスタン共和国の新首都アスタナは、2017年に遷都二十周年を迎えます。

## 【2017年アスタナ国際博覧会ロゴ】



## 【日本館出展テーマ】

# Smart Mix with Technology

## ～ オールジャパンの経験と挑戦 ～

エネルギー資源に乏しい日本は、経済成長とともに増加するエネルギー消費量や環境問題の課題を解決するため、国民を巻き込んだ省エネルギーの推進、新エネルギーの導入、CO2排出量の削減等に取り組んできました。そして今も3E+S\*の同時達成に向けて更なる努力を積み重ねています。こうした努力と経験を「オールジャパンの挑戦」として世界にアピールします。そして、アスタナ国際博覧会のテーマである「未来のエネルギー」への提案として、我が国の高い技術力と世界の課題解決に貢献できる日本の姿を世界に向けて発信します。

\* 3E+S: 安全性 (Safety) を前提とし、エネルギーの安定供給 (Energy Security) を第一に、経済効率性の向上 (Economic Efficiency) による低コストでのエネルギー供給を実現し、同時に、環境への適合 (Environment) 図るため、最大限の取組を行うこと。

## 【日本館シンボルマーク】



日本を象徴する赤い丸からエネルギーギッシュに飛び出す3つの色は、在来型のエネルギー、再生可能エネルギー、未来のエネルギーを、そして、それぞれの色が重なり合う部分はエネルギーミックスを意味し、一体となって未来に向けて上昇していくことを表現しています。

## 【日本館サポーター】

「アスタナ国際博覧会日本館サポーター」第1号は、嘉門達夫さんにご就任いただきました。

### ■嘉門 達夫 (シンガーソングライター)



1959年3月25日大阪府茨木市生まれ。1970年日本万国博覧会(大阪万博)に多大な影響を受けて育つ。小学校ではパビリオンのバッジ集めが流行り、達夫少年は64個で3位。フォークソングとラジオの深夜放送にも影響を受け、高校在学中に笑福亭鶴光氏に入門するが、後に落語家破門。その後全国を放浪する中でギターを手にライブ活動を始め、ヒット曲も多数。

2005年愛・地球博では、テレビ番組の企画で小学校の同級生と35年ぶりのバッジ集めで対決。2010年上海国際博覧会では、日本産業館応援団長に就任。ライブステージとバッジ集めで多くの国の方々と交流し、650個のバッジを集めた(写真参照)。2015年ミラノ国際博覧会では、日本館サポーターに就任。現地でライブも行い、バッジ集めにも奔走した。CD、ライブ、ラジオ、テレビ、執筆と同様、国際博覧会もライフワーク。

